

みちのりグループのご紹介



2022年3月3日
株式会社みちのりホールディングス

1. みちのりグループについて

2. 海外での取り組み事例

会社概要

会社名	株式会社みちのりホールディングス Michinori Holdings, Inc	
住所	【本社】 〒100-6608 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー8階	【東京事業所】 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル7階
連絡先	TEL 03-4562-1520 FAX 03-4562-1100	TEL 03-6250-1071 FAX 03-6250-5620
	E-mail info@michinori.co.jp	
設立の目的	グループ公共交通事業体の持株機能及び長期的・持続的な事業価値の向上	
設立年月日	2009年3月16日	
資本金	資本金3億円	
株主	株式会社経営共創基盤 100%	
役員	代表取締役グループCEO 松本 順 (株式会社経営共創基盤 共同経営者) (株式会社日本共創プラットフォーム 取締役専務)	
	取締役 富山和彦 (株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長) (株式会社日本共創プラットフォーム 代表取締役社長)	
	取締役 関 敦彦	

事業内容

観光バス



路線バス



高速バス



運転士達



タクシー



電車



ロープウェイ



モルール

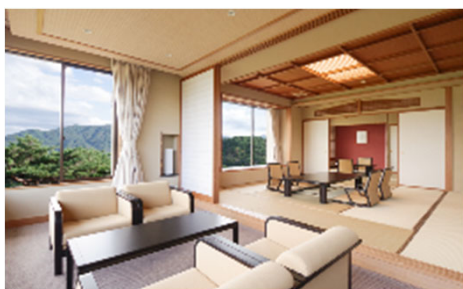


観光・旅行

整備

交通

ホテル



車両整備の風景



みちのりグループ 高速バス運行路線

- ◆ 東日本エリアを中心に58路線を運行し、年間300万人以上の利用者数を持つ
- ◆ デジタルチケット導入、Free WiFi完備など、UXを改善



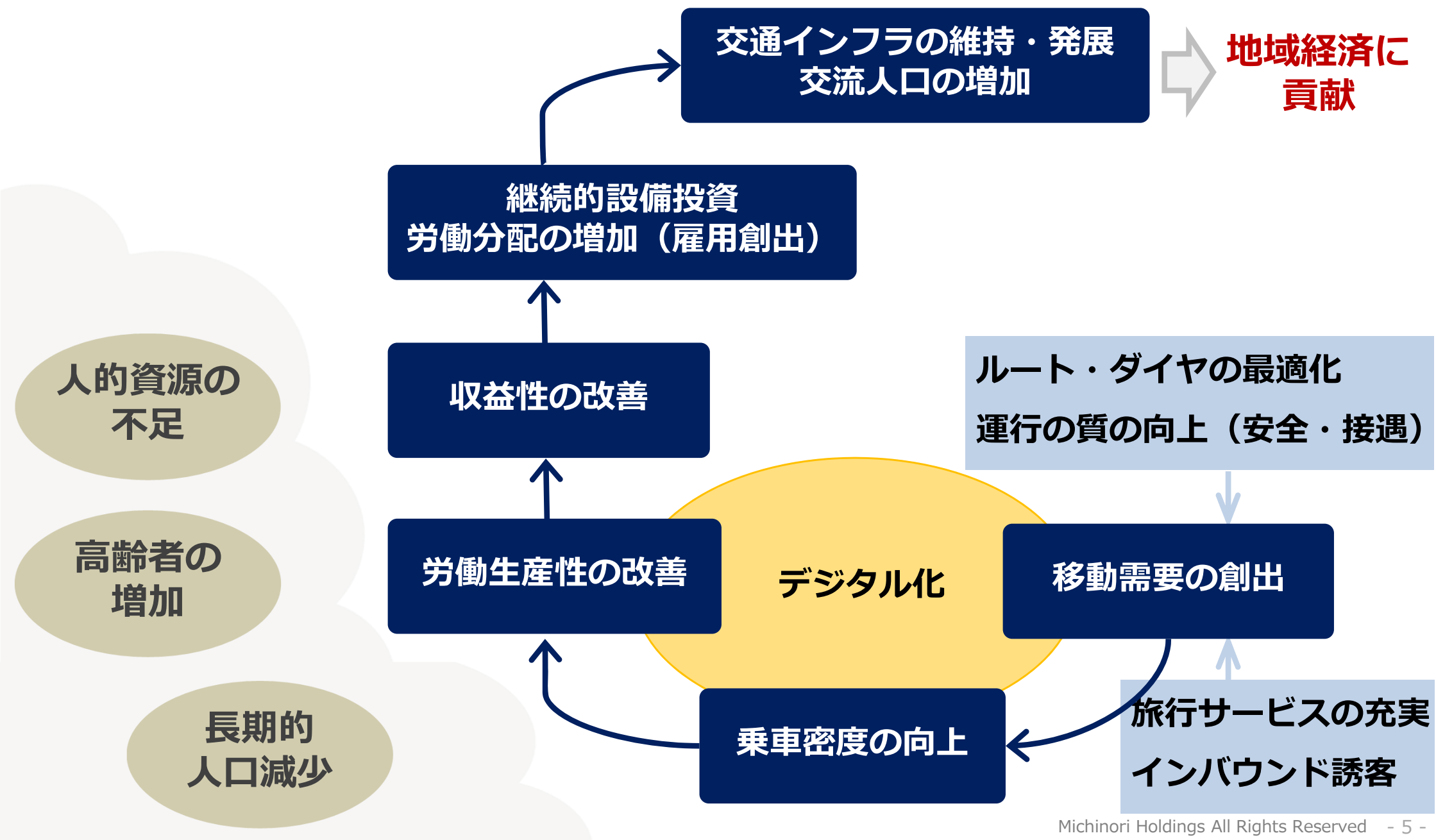
高速バス運行路線一覧

- 東北⇔首都圏 8路線
- 東北⇔東北 20路線
- 東北⇔中部・関西 4路線
- 北関東⇔首都圏 7路線
- 北関東⇔東北 1路線
- 北関東⇔中部・関西 3路線
- 東北空港路線 7路線
- 首都圏空港路線 8路線

合計：58路線



車内広報誌“みちのり”を
2018年夏に創刊



みちのりグループの沿革

- ◆ みちのりグループは、2009年に経営共創基盤（IGPI）の100%出資により設立されて以降、多数の交通事業者がグループに参画しています。

2021年8月 なの花交通バスがグループ入り

2019年5月 茨城交通と日立電鉄交通サービスが経営統合（合併）

交通・観光事業6グループ

従業員：約4,800人

車両台数：約2,400台




2018年10月 関東自動車と東野交通が経営統合（合併）

2018年4月 東日本交通がグループ入り

2017年12月 日立電鉄交通サービスがグループ入り

2017年5月 南部バスがグループ入り

 2016年12月 東野交通がグループ入り



2015年6月 湘南モノレールがグループ入り



2013年8月 会津乗合自動車がグループ入り



2012年4月 関東自動車がグループ入り



2010年4月 岩手県北自動車がグループ入り



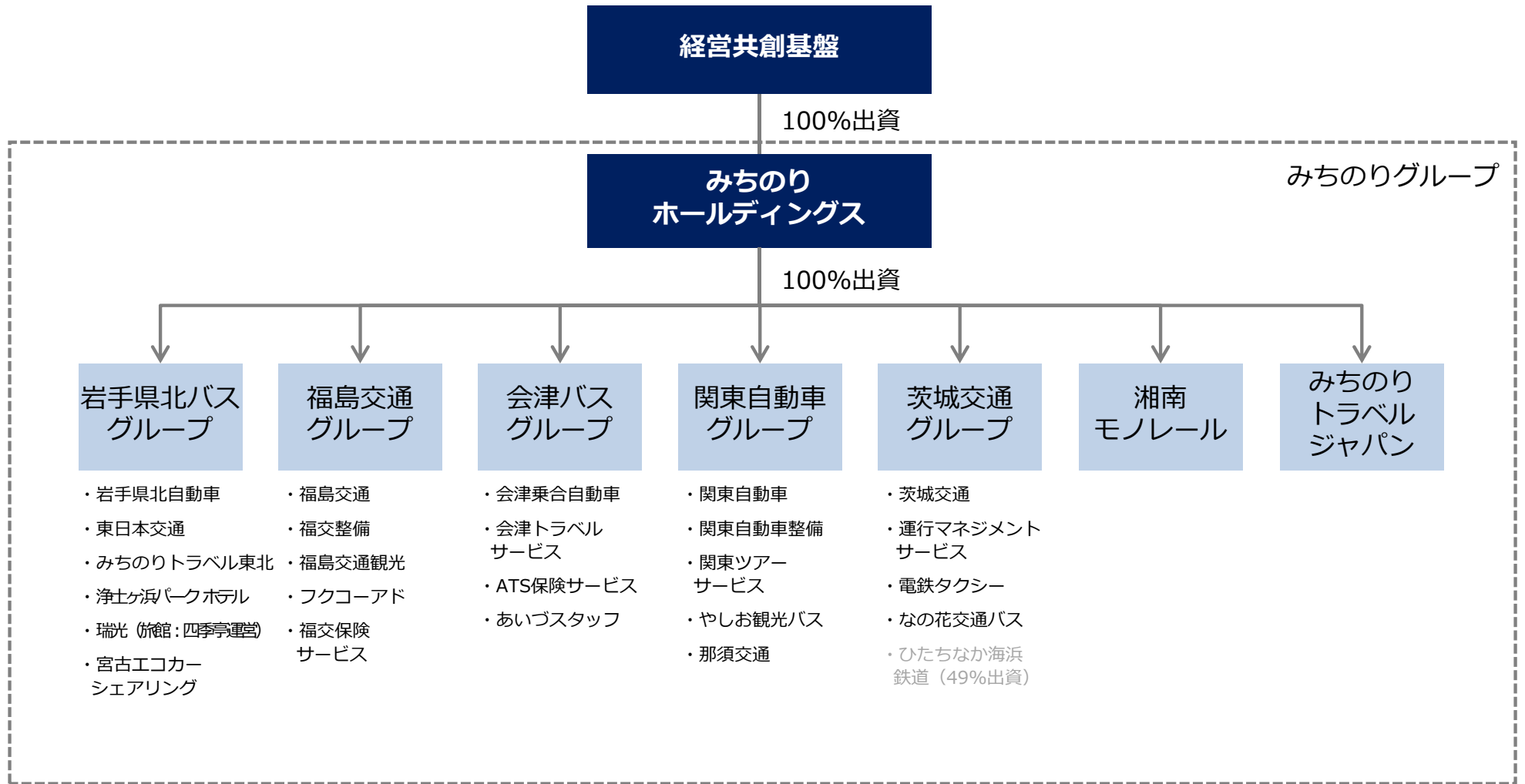
2009年8月 茨城交通がグループ入り



2009年4月 福島交通がグループ入り

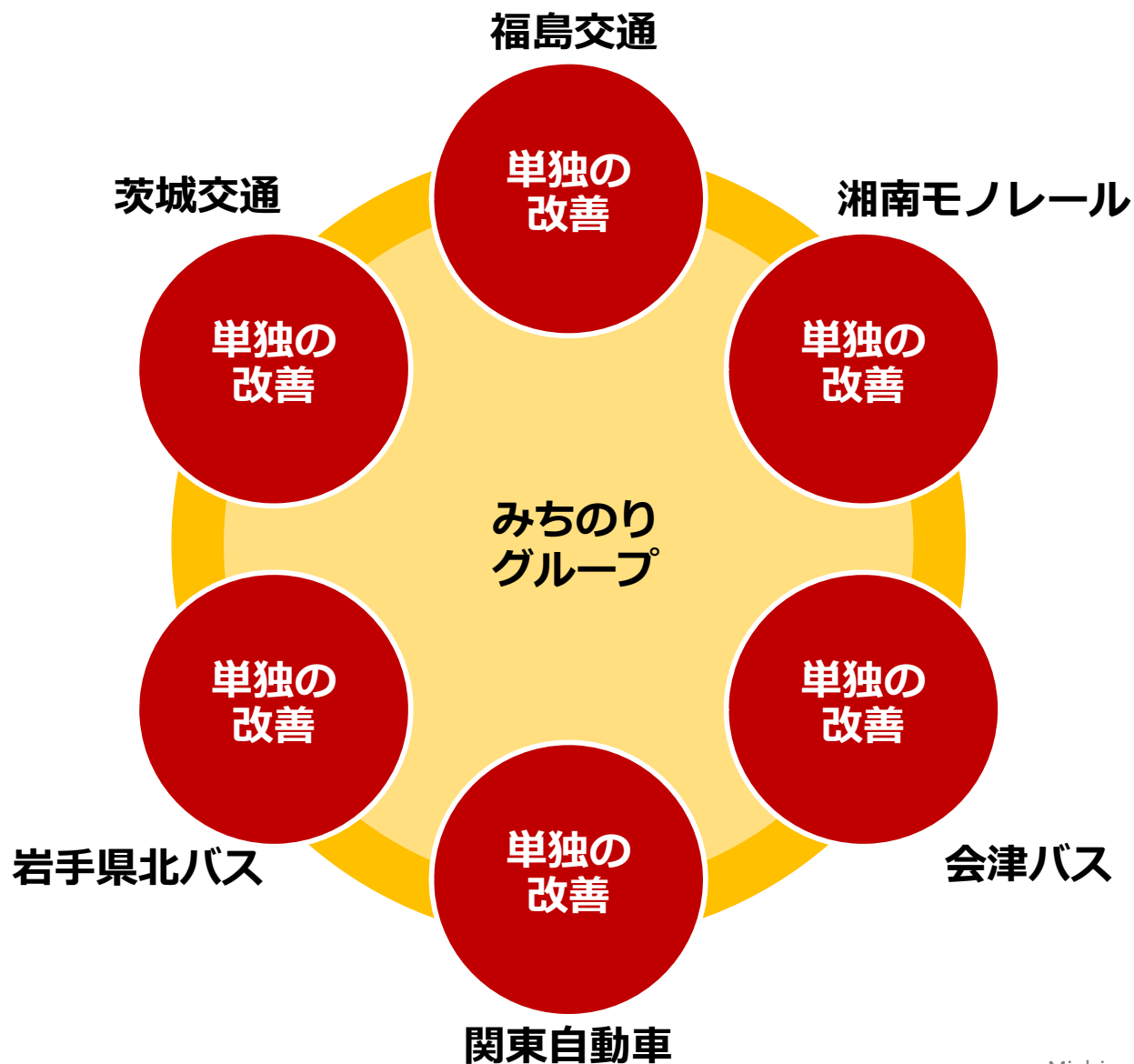


2009年3月 みちのりホールディングス設立



広域連携効果

- ◆ ベストプラクティスの横展開や、スケールメリットの追求により、単独では成し得ない改善効果を生み出す



縦串・横串のグループ経営



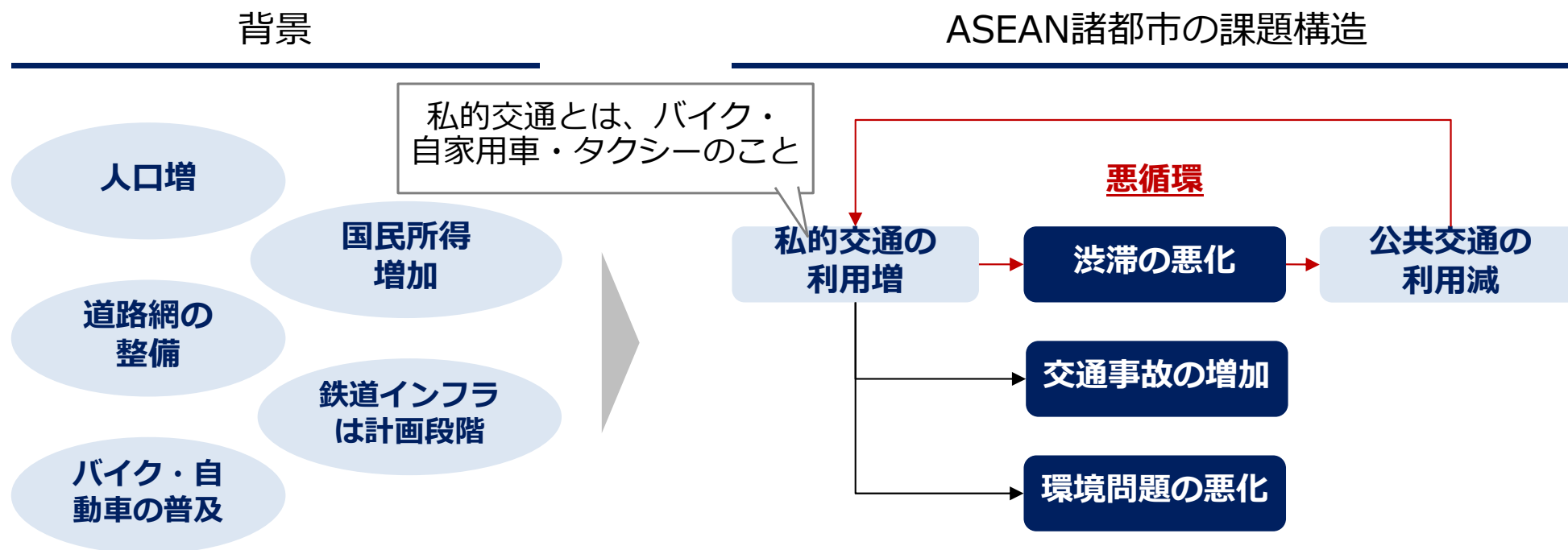
※人数はイメージ

1. みちのりグループについて

2. 海外での取り組み事例

新興各国のメトロポリスが抱える問題

- ◆ 新興各国の都市では、慢性的な交通渋滞・交通事故の増加・環境汚染が大きな社会問題となっている



公共交通運営の近代化に向けた民間事業の役割

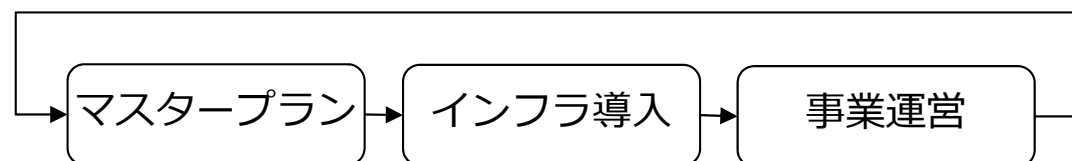
- ◆ 現地課題の解決はマスタープランを継続的・自律的に実行できてこそ。そのために民間事業が担うべき役割も大きい。

現地在真に解決したい課題

- ✓ 都市整備、経済活動活性化
- ✓ 交通インフラの近代化（路線網、質の向上）
- ✓ 事故防止、渋滞解消
- ✓ クリーンエネルギー化、環境対応 等

マスタープラン策定・実行
(モーダルシフト、マルチモーダル連結 etc)

継続的・自律的な都市開発プロセス



民間事業が担うべき役割

- ✓ 公共交通事業の経営品質向上
- ✓ 近代的なオペレーションの導入
- ✓ 既存事業者の統廃合を含む業界再編
- ✓ 業界・市場全体としての技術活用・規格対応 等

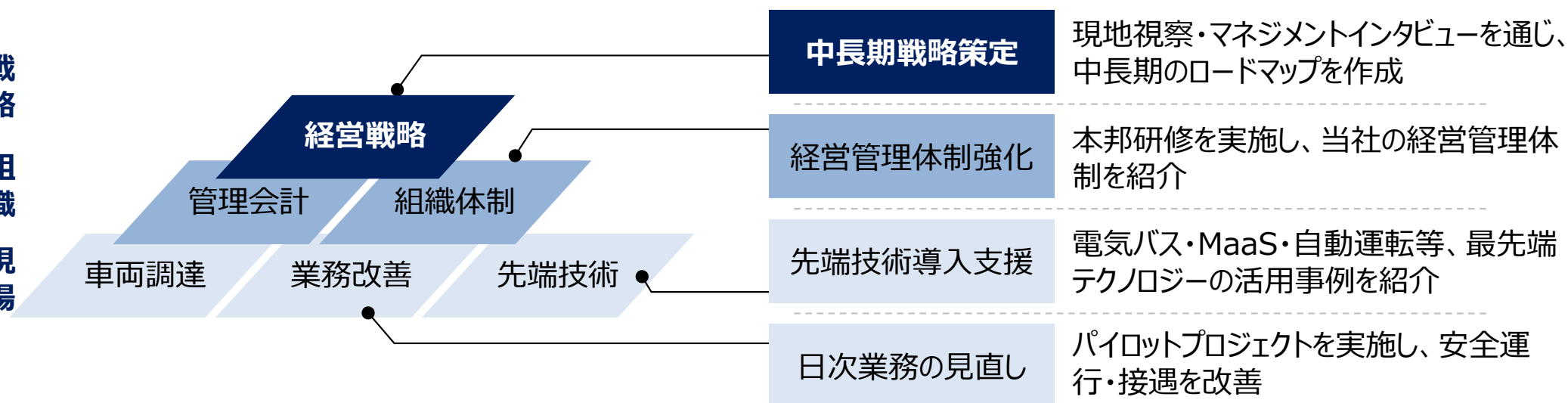
現地課題解決に対する民間事業としてのみちのりグループの貢献

◆ 中長期戦略策定から現場のオペレーション改善に至るまで、幅広い領域で支援

支援テーマ

支援内容の一例

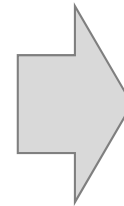
戦略
組織
現場



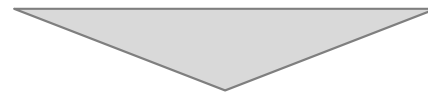
公営バス会社

人口1千万人都市の公共交通の90%をカバーしている

- ・バス車両台数 : 1,000台超
- ・路線数 : 70超
- ・従業員数 : 1万人超



政府決定により、民営化の方針が示されている



**みちのりグループによる株式取得、経営・事業参画も視野に入れた
日本のバス事業オペレーションの海外インフラ輸出**

◆ 2019年、公営バス会社の幹部を日本に招聘し本邦研修を実施



現地での大規模公共交通セミナーの実施

- ◆ 2019年、日本からは国土交通省、現地からは公共交通管轄当局をお招きし、公共交通の重要性、両国の公共交通政策、事業者の取り組みに関するプレゼン、意見交換を実施



- ◆パイロットPJとして、アルコールチェッカーの試験導入、みちのり式の点検、面前の出発前点呼を実施し、路上故障の低減や安全運行の意識改革・成果につながる

日次業務の導入支援

アルコールチェックの導入支援

始業前 点検

- みちのりがチェックリストを提供
- 上記参考に、自社でチェックリストを作成し、15分程度の点検を実施

- みちのりが推奨メーカーを選定し、機器の選定をサポート
- みちのりの交渉により、メーカーからのアルコール検知器の貸出を実現
- 導入設置後も、教育・研修を実施し運用を支援

出発前 点呼

- みちのりの出発前点呼の方法を紹介
- 出発前に必ず面前での点呼を実施
- 健康状態確認や道路状況等に関する情報を共有

- 結果、ドライバーの安全運行に関する意識改革を実現

- ◆ デジタルタコグラフの試験導入を行い、運転技術の向上、燃費改善、ドライバー評価制度の構築を図り、現在も改善活動を継続中

① 事務所



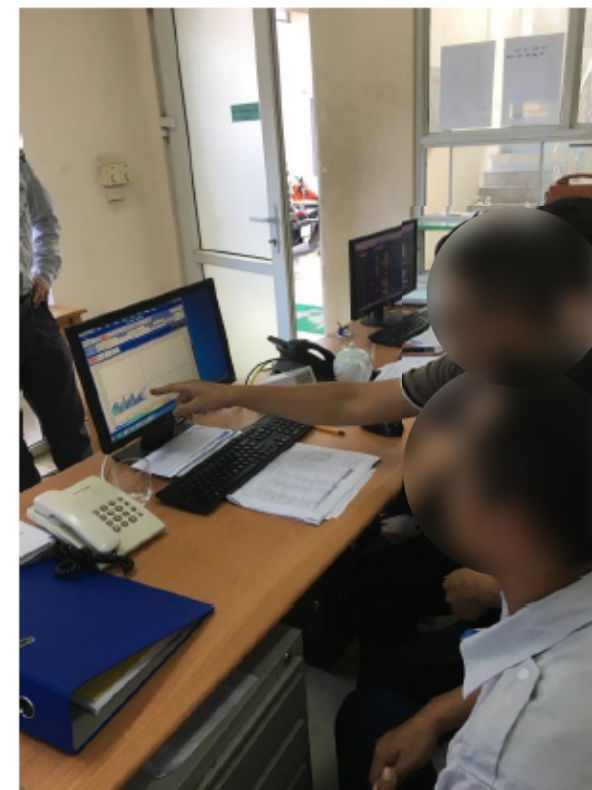
点呼の際、運行管理者より
記録カードを受け取る

② 出庫



記録カードを車載機にセットし
運行を開始する。

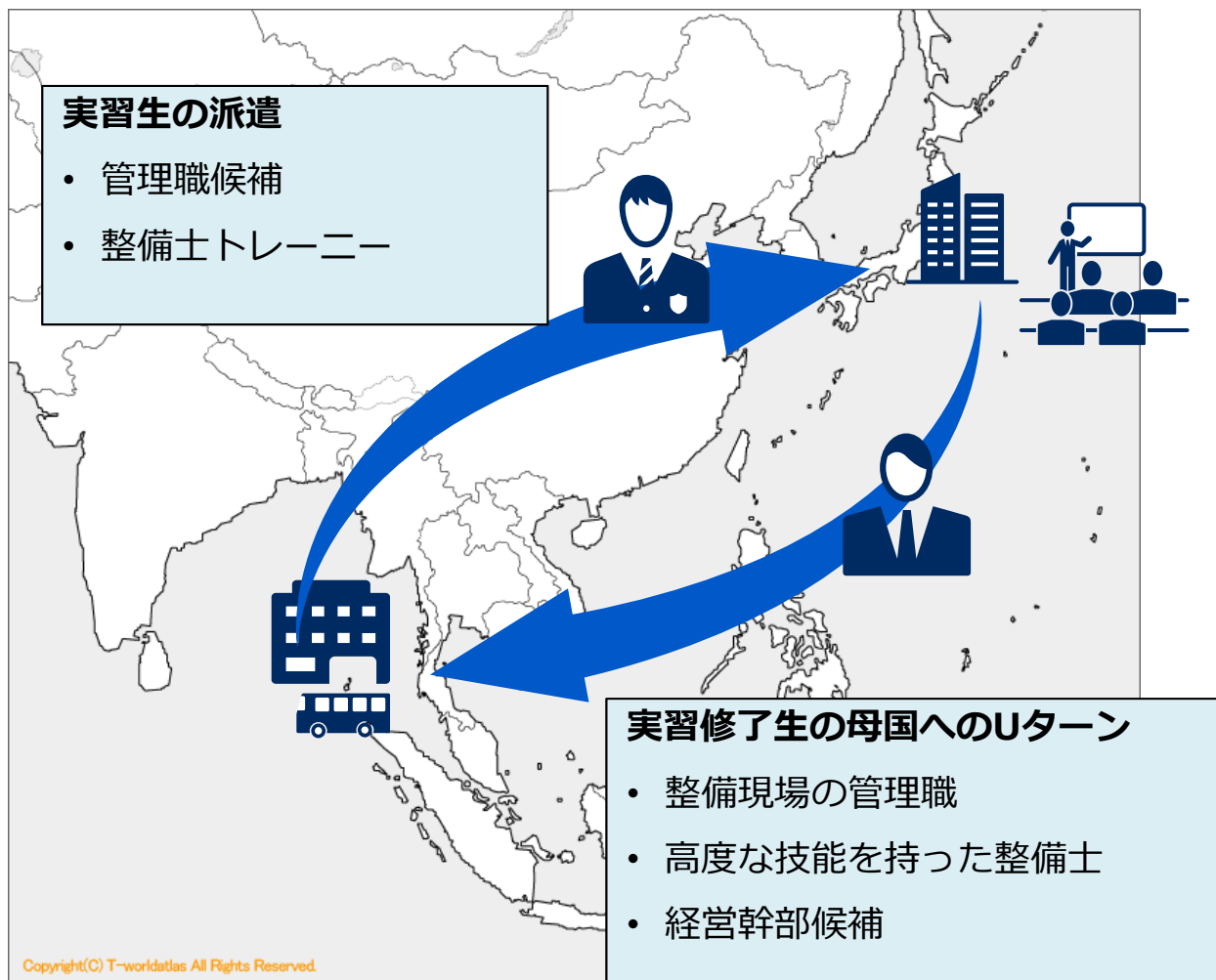
③ 入庫



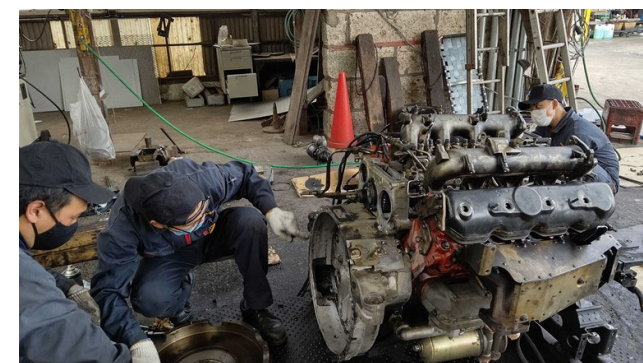
運行管理者が記録カードを読み
取り、ドライバーの運転について
指導を行う。

人材開発プログラム（技能実習生の受け入れ）

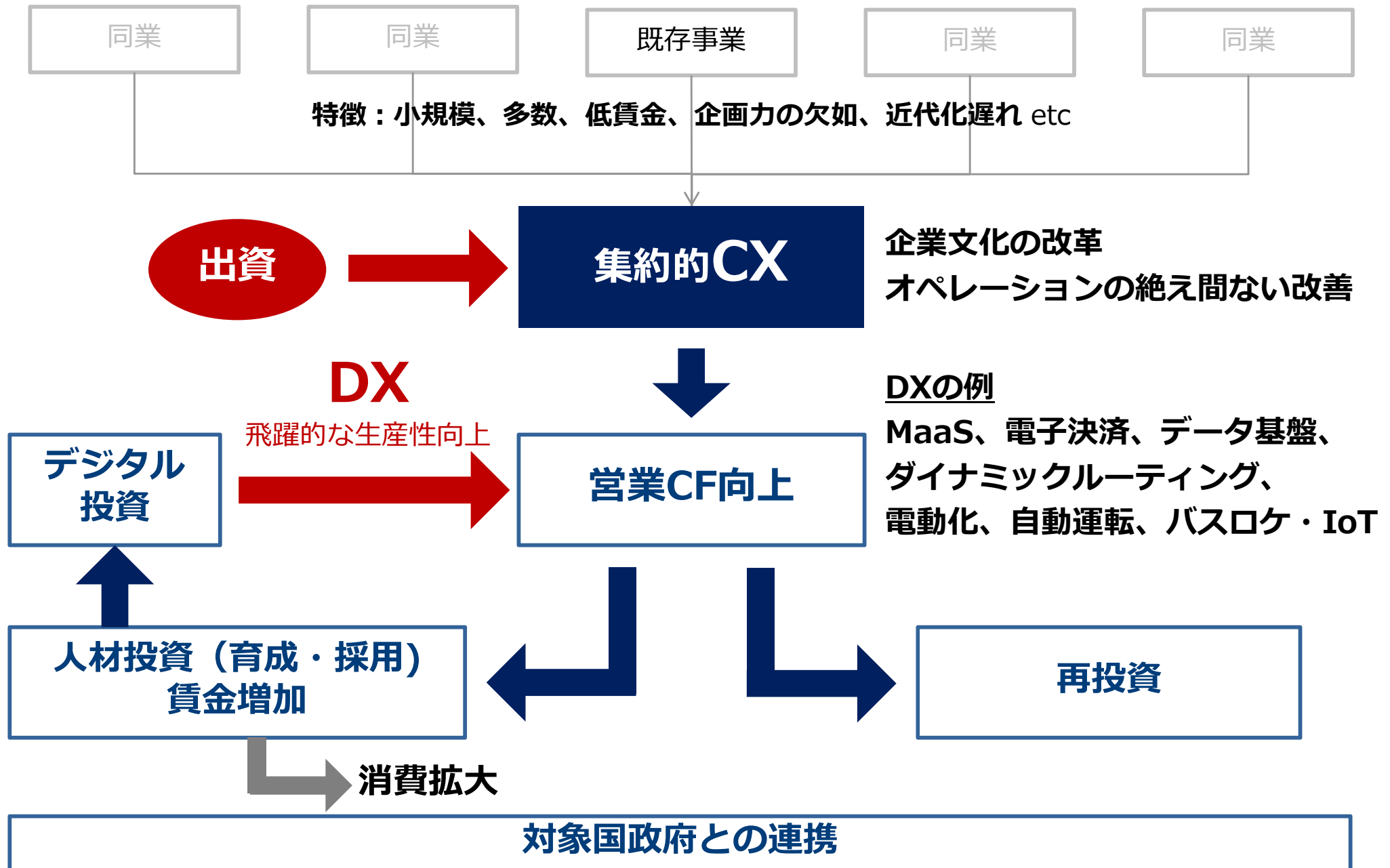
- ◆ 2020年、現地のバス会社の整備士を技能実習生として受け入れ開始
- ◆ みちのりグループ各社の現場で基礎知識、現場での実践的スキル、管理者としての知見を習得中
- ◆ 整備部位ごとに教育項目と技能評価を設定すると共に、パーツ交換基準や力加減など数値化しにくい技能も丁寧に伝達



みちのりグループ各社の整備現場で 実践的実習プログラムを実施



新興国大都市におけるバス事業近代化支援の要諦



日本のバス事業オペレーションの海外インフラ輸出

